

事業報告

I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として、以下の事業を実施した。

1 事業の実施状況

(1) 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

ロ) 研究助成の種目と助成額

A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

0件	1件	200万円	0万円
----	----	-------	-----

B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

6件	1件	70万円	420万円
----	----	------	-------

萌芽研究 研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件	1件	40万円	160万円
----	----	------	-------

C) 岡山県産業振興財団科学技術賞

産業先行研究 岡山県技術振興基金事業「若手研究者支援助成金事業」により設けたもので、40歳以下の研究者が行う産業界のニーズに応える研究を対象とする。

5件	1件	40万円	200万円
----	----	------	-------

ハ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース123号及び財団ホームページに掲載）4月8日に締切った。

ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
内山勇三科学技術賞	特別研究	2 件	0 件	0 %	
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	12	6	50	
	萌芽研究	10	4	40	
岡山県産業振興財団科学技術賞	産業先行研究	6	5	83	
計		30	15	50	

③ 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
岡山工学 振 興 会 科学技術賞 一般研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学部) 准教授	木原 工	熱測定に特化したパルス強磁場装置の開発-磁気冷凍材料開発への応用に向けて-	万円 70
	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学部) 講師	江口 律子	高誘電率ゲート絶縁体結晶を組み合わせた高性能有機電界効果トランジスタの創製	70
	岡山大学 学術研究院医歯薬学域 (薬学部) 講師	阿部 匠	アミノインドール合成法を基盤とした新規感染症治療薬の創出	70
	岡山大学学術研究院 自然科学学域 (工) 教授	岡田 晃	ブラスト処理とEBポリッシングによる金属AM造形物の高能率表面仕上げプロセスの確立	70
	岡山大学学術研究院 自然科学学域 (工) 教授	三浦 智也	シクロプロパン環を繰り返しユニットとする光学活性シクロフアンの合成と応用展開	70
	岡山県立大学 情報工学部 教授	伊藤 照明	身体的引込動作により遠隔会議者につながる運動協調インタフェース	70

岡山工学 振興会 科学技術賞 萌芽研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学部) 助教	田中 健太	長波長側の可視光をエネルギー源として活用する有機光触媒システムの開発	40
	岡山大学学術研究院 自然科学学域 (工) 助教	戸田雄一郎	案内地図画像を用いた位相構造学習に基づく自律移動ロボットの知的ナビゲーションシステムの開発	40
	岡山大学学術研究院 自然科学学域 (工) 助教	近藤 真矢	非晶質・結晶界面を利用した基板や素子サイズに依らない誘電体材料の開発	40
	岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合 科学学域 助教	大塚 里美	薬物機能プロテオミクスを用いた新たな阻害剤再評価法の開発	40
岡山県産業 振興財団 科学技術賞 産業先行 研究	岡山大学学術研究院 自然科学学域 (工) 助教	前田 千尋	固体発光材料を志向した新規ヘテロサーキュレンの開発	40
	岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合 科学学域 助教	王 璿	テラヘルツ波ケミカル顕微鏡によるがんバイオマーカーの高感度検出	40
	岡山県立大学 情報工学部 准教授	大下 和茂	歩行改善に繋がるスマートインソール開発に向けた足底触覚刺激が歩行動作に与える影響について	40
	岡山理科大学 工学部 講師	奥田 靖浩	分子生物学における合成基盤化を指向したイナミンの生体適合型パイ拡張	40
	岡山理科大学 工学部 講師	小田 哲也	障がいのある作業者が実施する指差し呼称の妥当性判断と改善指示を行う環境知能の実装: 作業者の安全性と危険感受性の向上を目的とした動体解析システムと指導システムの開発	40

(2) 国際研究集会等派遣の助成

公益目的事業 2 (国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業) に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理

工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

② 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

③ 国際研究集会等派遣助成実績

公益目的事業 1 の充実を図るため、募集を停止した。

(3) 学術研究集会、学術講演会の助成

公益目的事業 3（岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

② 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県内で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

③ 学術研究集会、学術講演会の助成実績

公益目的事業 1 の充実を図るため、募集を停止した。

(4) 産学官連携事業の助成

公益目的事業 4（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

② 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

③ 産学官連携研究会等の助成実績 1 件 7 万円

岡山新材料技術融合フォーラム 7 万円

(5) 学術交流推進助成事業

公益目的事業5（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究または学術集会を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種別	所属機関・職	氏名	研究題目	助成額
学術交流推進助成事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	万円 50
	岡山大学 特命教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	70
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	50
	川崎医科大学 特任教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による内臓肥満抑制の分子基盤解明と新規治療法の探索	50
	川崎医科大学 教授	原 浩貴	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に及ぼす影響に関する研究	50
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	30
		計		6件

(6) 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は、次により行った。

① 学術的研究成果及び学術情報の普及

岡山大学工学部研究年報、理学部研究業績一覧、県内大学の研究年報等情報並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業・研究機関に提供。

ホームページ(URL: <http://ofst.or.jp/>)に掲載。

② ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布。

学術研究助成者の研究成果報告等の報告に基づき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。また、表紙を刷新、ロゴマークを入れ、A4版にするとともに、ページ数を減らし、読みやすくした。

(7) 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は、次により行った。

① 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

(8) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	内山工業(株)赤坂研究所	50	50	
	(株)ジーシー研究所	70	70	
	戸田工業(株)	50	50	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	50	50	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	50	50	
	DOWA エフテック(株)	30	30	
	高田 潤	0.6105	0.6105	
	坂田 有三	4	4	
	岡山工学振興会(旧)	2,420.3544	2,420.3544	
	合 計	2,724.9649	2,724.9649	

2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期
経常収益合計	2,674	2,392	3,164	2,617
経常費用合計	2,870	2,894	3,604	2,838
当期正味財産増減額	1,281	△4,117	1,409	△508
資産合計	49,859	45,766	47,223	46,687
負債合計	550	574	623	672
正味財産	49,309	45,192	46,600	46,015

II 法人の課題

公益財団法人として法律並びに定款の定めにより、より充実・安定した事業を継続するための体制の強化。

広報の充実と支援基盤の強化。

III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事2名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

事業報告の附属明細書

1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

「該当なし」

2 事業の状況について補足すべき重要な事項

(1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする。また、令和2年度申請分から、奨励研究を萌芽研究に名称を変更し、年齢制限をなくし、さらに産業先行研究の年齢制限を37歳以下から40歳以下に引き上げ、応募種目の偏りをなくすとともに若手研究者の応募の向上を図った。

(2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業

外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする。

(3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業

岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする。

(4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする。

(5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成

岡山県内の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする。

3 許認可について補足すべき事項

上記の公益目的事業の「国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業」及び「岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業」について、令和5年度からの廃止の申請を行い、令和4年12月16日付けで認定された。

4 事業の実施状況についての補足すべき事項

学術研究の助成事業のうち、産業先行研究が令和4年度末をもって終了する。

5 役員会等に関する補足すべき事項

「該当なし」

6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項

「該当なし」